

第 32 回“翡翠カップ”ビーチボール全国大会 主審・副審の協力依頼について

第 32 回翡翠カップビーチボール全国大会実行委員会
会 長 笹 原 靖 直

平素は当大会の運営にご理解とご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。

朝日町で誕生した「ビーチボール」は、選手・関係各位のご尽力により全国的に普及し、今年度で“翡翠カップ”においては 32 回、全国ビーチボール競技大会においては 42 回の回数を重ねてきたところであります。

この大会は当初より「いつでも、どこでも、だれでも」のキャッチフレーズのもと、60 歳以上の方を対象として開催し、ビーチボールを通して、交流や健康の保持増進・体力向上を目的としておりましたが、近年はレクリエーション志向から競技志向へ移行し、高度な審判技術が求められるようになってまいりました。

これまでは、当町の職員ならびに町スポーツ推進委員が主審・副審を行ってまいりましたが、近年の選手の競技力向上に伴い、審判員の確保に苦慮している状況にあります。

つきましては、第 32 回大会より、主審・副審を各出場チームから選出いただきたく、ご理解いただきますよう、何卒お願い申し上げます。

【Q1】 審判資格（A 級から C 級）は必要ですか。

【A1】 審判資格は必要ありませんが、資格をお持ちの方を選出いただけますと幸いです。

【Q2】 チームから審判を出さないといけませんか。審判をできる者がいない場合はどうすればいいですか。

【A2】 原則、チームからの選出をお願いいたします。審判をできる方が別にチームに帯同されている場合は、その方を選出いただいても構いません。

【Q3】 審判服は必要ですか。

【A3】 チームユニフォームで結構です。審判服をお持ちの方は、着用いただいて構いません。

【Q4】 審判をできる人がチームに複数います。途中交代はできますか。

【A4】 試合途中での交代はできません。別の方が次の試合の審判をしていただいて構いません。

【Q5】 審判を行うのは試合の前ですか、後ですか。

【A5】 自チームの試合の前に行っていただきます。審判員表に基づき、主審、副審をお願いいたします。ただし、1 日目の最終試合の主審、副審は大会審判員で対応します。2 日目の第 1 試合目は第 2 試合目のチームから主審、副審をお願いいたします。準決勝以降は大会審判員で対応します。